

高校生向け多様な働き方体験ツアー

皆さん、こんにちは。埼玉県 雇用・人材戦略課です。
今日は皆さんに、高校生向け 多様な働き方体験ツアーをご紹介します。

突然ですが、皆さんは、将来どんな会社で働きたいですか？
お給料がいい、ワークライフバランスに配慮がある、自分が成長できる など、いろんな考え方が
ありますよね。中には、まだイメージがわからない…という人もいるかもしれません。

そんな皆さんに、ひとつだけ覚えておいてほしいことがあります。

それは、「どんなふうに住きたいか」ということは、「どんなふうに生きていきたいか」につながる問
いかけだということです。少し大げさに聞こえたかもしれませんが、若い皆さんにはぜひ、ゆっくり時
間をかけて考えてみてほしいなと思います。

そのためのヒントとして、ここからはいくつかのデータをみていきましょう。

これは、厚生労働省が、18 歳から 25 歳という若い年代の人たちに行った意識調査の結果です。
就職活動で、企業の育休取得情報を重視すると答えた人の割合は、約7割でした。
女性だけでなく男性も6割を超えていました。

さらに、男性の育休取得実績がない企業に就職したくないと考える人が全体の6割以上もいることが
分かりました。

その背後には、若い男女の約9割が育児休業を取得したい、それだけではなく、男女ともに、自分の配
偶者にも育児休業を取ってほしい、そんな思いがあることが、このデータから分かります。

ここまで、育児休業の取得に対する考えを軸にみてきました。
でも、自分はまだ結婚するかも、子どもを持つかも分からないし、関係ないかも…と感じた方もいる
かもしれません。

これはとても重要なことなのですが、育休取得率が高い企業というのは、ただ育休取得率が高いとい
うだけではないのです。企業が、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいって、その1つのあらわれ
として、育児休業の取得率も高くなっていく、ということなのです。

こちらの調査結果をみても、若い人たちは、育休取得率が高い企業に対して、安定している、社員想
い、先進的、若手が活躍できるなど、好意的なイメージを持っている多いことが分かります。

そして、自分が働く場所としてみたときに、このような企業に魅力を感じる人はかなり多いのではない
でしょうか。

どんな会社がいいかは何となく分かった。だけど、たくさんある会社の中から、どうやって探せばいい
んだろうと途方に暮れてしまいますよね。

埼玉県では、10 年以上前の平成 24 年から、働く人のライフスタイルに合わせて働き続けられる職場
環境づくりというものに取り組んでいる企業を「多様な働き方実践企業」として認定してきました。

つまり「多様な働き方実践企業」は、「あなたがあなたらしく働ける企業」ということです。

そんな企業が、いま埼玉県内には 4,200 社以上もあるんです。
目印は、このシンボルマークです。ぜひ、タヨハタって愛称も覚えてくださいね。

認定を受けるためには、ここに挙げた5つの要件のうち、2つ以上を満たす必要があります。
具体的な説明はここでは省略しますが、興味を持った方は、県のホームページをチェックしてみてください。

さて、ここまでの話をきいて、「多様な働き方実践企業」ってどんなところなのか、実際に見てみたくなりましたよね。

埼玉県では、毎年夏休み期間に、高校生向け「多様な働き方体験ツアー」を行っています。
県内を3つのエリアに分けて、1日に2つの異なる業種の企業を訪問し、経営者から企業理念や多様な働き方について話を伺うほか、年の近い先輩社員との交流、簡単な業務体験を行います。

ここで、昨年度の様子をちょこっとお見せしましょう。

いかがでしたでしょうか。皆さん、とっても楽しそうでしたね。
こちらは参加者の感想の一部ですが、就職についてのイメージや将来就きたい職業の幅が広がった、自分で調べているだけでは知りえない話を聞くことができた、会社の雰囲気がよく、就職先として気になった など、楽しいだけでなく、たくさんの学びを得られたことが伝わってきますね。

そして、次は、これをご覧になっている皆さんの番です。
今年も「多様な働きかた体験ツアー」を実施します。

7月下旬から8月上旬にかけて、県内の3つのエリアで実施します。
詳しくは、学校の先生に聞かか県のホームページをみてください。

ここまでご覧いただきありがとうございました。
ツアー当日、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

(終)